



会長 阿部賢悟
 幹事 遠藤光則
 会報 飯塚仁哉 渡辺光悦
 佐藤静市 布施孝尚
 江川元徳

例会場 サンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 サンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2297回例会 2011. 4. 7 No.34

本日の出席率

- ・本日の出席率 59.62%
- ・前回確定出席率 78.85%

ニコニコボックス

- ・阿部賢悟会長 ロータリー情報委員会のフォーラム 布施孝之委員長よろしく学ばせていただきます。
- ・布施孝之会員 本日ロータリー情報委員会のフォーラムを担当します。よろしく。
- ・鈴木彦太会員 布施孝之ロータリー情報委員長、実りのあるフォーラムをご期待申し上げます。
- ・飯塚仁哉会員 ロータリー情報委員会フォーラム、布施孝之委員長のユーモア溢れるスピーチに期待して。
- ・江川元徳会員 ロータリー情報委員会、出席は第一。地震から復興、原発事故の終了の情報もほしい。
- ・高田次雄会員 今日も皆さんの元気な顔、拝見でき大変うれしいです。遠藤光則幹事、お悔やみ申し上げます。
- ・菅野幸一郎会員 この度の大震災で娘の里奈が、登米市米谷病院に於いて医師として被災地を訪れ、避難民や入院患者の診療を行い、少しでも地元へ貢献したいと思いボランティアをさせて頂きました。
- ・二階堂學会員 大震災の復旧に専念していることと申します。会員皆様のご健康には十分に気をつけて下さい。
- ・杉田広仁会員 震災のお見舞い申し上げます。昨

日、真言宗智山派としての震災対策を協議して来ました。

- ・村上武彦会員以下、ロータリー情報委員会のフォーラムに期待して。

佐藤幸一会員 佐々木崇会員 千葉吉男会員
 氏家良典会員 伊藤俊郎会員 山田直志会員
 佐藤静市会員 佐々木源悦会員 小泉洋会員
 富士原裕子会員 武川毅会員 高橋義文会員
 長沼盛雄会員

以上、ありがとうございました。

会長要件 阿部賢悟会長

毎日のようにテレビ、ラジオで、東日本大震災、福島第一原発についての報道等がされておりますが、会員皆様に於かれましては、お仕事の方は復旧されましたでしょうか。職場の方は順調に進んでおりますでしょうか。又、生活の方は如何でしょうか。この難局を皆さんと力を合わせて乗り切りたいと思えます。頑張ってください。

先日、FAXにて訃報をお知らせ致しました。遠藤光則幹事のご尊父様遠藤正義様が佐沼の登米市立病院にて入院加療中でしたが、4月3日にご逝去されました。仏事につきましては、8日通夜、9日火葬、葬儀が「さぬま斎苑」に於きまして執り行われます。謹んでお悔やみ申し上げます。

4月2日、第2回目の南三陸町物資輸送ボランティアに参加してまいりました。市の職員と2人1組で2台のトラックで、災害本部となっております南三陸ベイサイドアリーナで、救援物資の受け取りや積み込

み配送作業をやってまいりました。10トン大型トラックに紳士、婦人、子供用各サイズの長靴10足入りで200箱、大崎市からの支援物資、支援ボランティア、自衛隊支援車両へ、サンドイッチ、おにぎり、サーチライト、水ボトル等を自衛隊員や他のボランティア団体と一緒に手送りで積み込みや積み降ろしをしました。その中には、ベガルタサポータークラブが数人で支援物資をトラックで持ってきたり、遠く静岡からもご家族で自家用車で支援物資を一杯積んで持ってきて、役立てて下さい、頑張ってくださいと励ましの言葉を掛けられ、ほんとうに頭の下がる心温まる思いでした。

ロータリーに於きましても支援の輪が広がって参りました。調布RCから義援金の申し出がありました。川崎大師RCからお見舞の書状、そして、支援の話が来ております。理事会に於きましてもどのように対応するか話し合いを致します。国際ロータリーに於きましても、八谷郁夫パストガバナー、阿部泰彦会員と3人で南三陸町災害本部に行き、国際ロータリー支援事業の件で南三陸町の佐藤町長と打ち合わせをいたしました。カナダと日本のクラブとのWCSを使って10万ドルの支援です。詳細につきましては後日八谷郁夫パストガバナーより報告があると思います。又、本日、1時30分より迫中央公民館に於きまして、南三陸物資輸送ボランティア会議があり、菅原文之副会長が出席いたします。私共が出来ます範囲でボランティア活動を続けて参りたいと思っておりますので、ご協力をお願い致します。

幹事報告 阿部賢悟会長（代理）

- ・川崎大師RCより、お見舞の書状が届いています。
- ・「ザ・ロータリアン」誌が届く。

フォーラム

・ロータリー情報委員会（布施孝之委員長）
 本日はロータリー情報委員会のフォーラムということで、3月1日に遠藤光則幹事をお願いしてFAXのアンケートをお願いしました。締切りが3月25日だったのですが、3月11日の大震災の事態があったということ等もあり、ご返信いただかなかった会員も何人かいらっしゃいます。本日、資料としてお渡ししております会員のコメント、9名いらっしゃいますが到着順にここにお示しを致しました。本来ですと本日出席された会員の皆様からコメントを頂戴したいと思っておりましたが、時間の都合上、この9名のご意見等をコーディネートしながら進めさせていただきます。

1. 佐藤敬喜会員

- 1) クラブ内に趣味等のクラブをつくる。
- 2) カルチャースクールを夫人、家族を対象に開く。
- 3) 各種ボランティア団体の後援会組織をつくる。

※1)、2)に関しては、共通の目的もあるので、親睦活動委員会の行事等を通して開いてはどうかというお考えです。3)については、既に、ロータリークラブの会員であると同時に、この地域にあるいろんなボランティア団体のメンバーとして、個人として参加している方々もいらっしゃいますので、会員個人の意志としておまかせしても良いのではないかと気がします。又、クラブとして何年か続けている行事としては、E T Aの後援会的な支援活動、ボーイスカウトの育成団体として支援しているということもあります。

2. 小野寺伸浩会員

ロータリーライフについては「職業奉仕」という言葉が全てと思っていますので、ロータリアンの一員であることを誇りに思っています。中でも改善できた良いなと思うことを何点か挙げさせていただきます。

- 1) 会長要件、幹事報告、委員会報告で内容的に重複していることがあります。できれば事前に誰が何を話すのかをまとめて、スッキリした報告をされると良いのではないのでしょうか。
- 2) 出席率を高める必要があります。以前、山田直志会員が会長だった時に行っていた星取表を復活させてはいかがでしょうか。現在の月毎の行事案内は大変有効と思います。
- 3) 服装、例会中の私語等について、会員の納得がいく形で改善されてはいかがでしょうか。
- 4) サンシャイン佐沼以外で例会を行う場合、会員以外の会場を利用できないのでしょうか。他の会場を使うことにより、ロータリー活動のオープン化と会員増強の2つのメリットが生まれるような気がします。
- 5) 会長職はホストであることを認識し、一般会員の満足向上のために心を砕く必要があると思います。例えば、欠席がちな会員については、会社に出向く、電話をしてみるなどの相手を思いやる行動が必要だと思います。(現会長にそれが無いと言っている訳ではありません)。リーダーとしての心構えとして日々気を使っていることを一般論として書いたまでです。

※「職業奉仕」という考え方、分野は他の奉仕団体にはないロータリー独自の理念でございますので、この

「職業奉仕」を通して個人的に活動しているということを誇りに思っていることだろうと思います。

1) については確かにございますが、例会前の短い時間で、各担当者がすり合わせをするのには難しい面もありますので、今後の問題として頭に入れておいてはどうかと思います。これによって例会がスムーズに進行するということだと思えます。2) は、小野寺伸浩会員も出席率を高めることを強調しております。後の会員にもこの出席率ということを前面にだしている方が多くいらっしゃいます。3) の服装については、それぞれの仕事の途中で現場からかけつけるという会員もいらっしゃいますし、余程乱れた服装ならともかく、多少許容範囲があってもよいのではないかと思います。例会中の私語については、やはり謹んでいかなければならないことだと思えます。4) についても、一つの考え方だと思います。阿部泰彦会員が会長の時、公開例会を年に何回かやり、ロータリー以外の外部の人達を招いてロータリー活動を直に見てもらったということもありました。又、通常例会以外で開催することによって一般の人々にロータリークラブの存在を知ってもらう、つまりPR効果がある、それが会員増強にもつながるのではないのでしょうかという考えだと思います。5) については、現阿部賢悟会長に限っては、ほんとうに良くやっているなあとは感心しております。欠席がちな会員について一番大事なのは、その会員の入会時の推薦会員が責任を持って声を掛ける。そして、出席委員会の仕事もそれだと思います。出席委員会は単に例会で出席率の報告をするだけでなく、そういった積極的な前向きな仕事をされてもよいのではないかと。経営者組織の責任者として、会長職はホストであるということ、ホストというのは簡単に言えば主人です。一家の大黒柱である。その大黒柱を支えるのが我々会員、いわゆるロータリー家族と言ってもよいのだと思います。

3. 菅野幸一郎会員

- 1) 例会には出来るだけ出席する努力をする。
- 2) 折角異業種の方々と交流できる場なので、有効に活用する。
- 3) ボランティアをすることの喜びを体験出来る。
- 4) ロータリークラブは世界組織なので、世界中に輪を広げることも出来る。
- 5) ロータリアン内外の方のお話を聞くことが出来る。

※1) で、菅野幸一郎会員も出席ということを強調されております。2) と5) は多少共通するところがあるのですが、ゲストスピーカー等を例会にお招きした

時、あるいは、ロータリーの諸大会に出席した時の講師のお話を聞くことが出来る。そういったことも含むと思いますが、いわゆる情報交換の場としてロータリーのいろんな場を活用するということだろうと思えます。3) は、ロータリーの理念そのものですが、人の喜びを自分の喜びとする。奉仕の喜びは、それに尽きると思えます。4) 西門RCもそうですが、世界大会等に出席していろんな人と交流し話し合うことによって、自分の人生、自分の世界が広く豊かになるということが言えると思えます。

4. 山田直志会員

- 1) 昼から夜への例会を希望します。

※この問題は、今まで佐沼ロータリークラブの40何年間の歴史の中で何回か出た話で、私の記憶では2回程経験したことがあります。氏家康秀会員が会長の時に第5週目の木曜日を夜間例会にした時がありました。又、誰の会長の時だったか、月に一回夜間例会をしたことがありました。こういった希望を持つということ、その会員の仕事によって時間を取れない人が結構いるということです。何年か前に毎週木曜日に業界の会議があるので、どうしても木曜日の例会に出席出来にくいので曜日を变えてほしいという要望がありましたが、創立以来の木曜日例会が定着し、多くの会員が木曜日に標準を合わせて仕事上スケジュールをとっておりますので、それは出来ないということで、その方は退会されました。

5. M会員 (匿名)

- 1) パークゴルフ等の野外スポーツで気楽に参加。
- 2) 遠くに一泊ぐらゐの旅行や、日帰り旅行で東北各地を知る、又は、いも煮会等々。
- 3) 年内計画で郷土の歴史や伝統工芸及び舞踊等で郷土を知る。
- 4) 清掃活動、カーブミラー清掃や老人福祉施設、身障者への慰問等で楽しく遊びをやる。
- 5) 例会の時に年間のテーマを企画、計画して(皆に共通する興味のあるもの) 例会をおもしろくする。勉強にもなると思う。

※1)、2)、3) は、単なる遊びのための親睦ではなくて、あくまでもロータリーの目指す「奉仕の理想」を追求する為のメンバーの仲間意識、連帯感を醸成する効果があるのではないかと思います。4) は社会奉仕の部門だと思います。5) は魅力ある例会にしてほしいということだと思います。

6. 阿部泰彦会員

世界的不況に、今回の大災害により、経営環境は大変厳しくなっております。今後は、事業の立て直し

と、登米市の復興発展、壊滅した南三陸町復興のために全力を傾注し頑張る覚悟です。ロータリーについても決断しかねております。

※このご意見は、東日本大震災の直後にいただいたアンケート回答です。考えさせられる問題であります。佐沼ロータリークラブは、メンバーを含めてまだまだ恵まれた方で、沿岸部の岩手、宮城のクラブの多くが今や存亡の危機にあると思えます。既に地区大会、地区協議会は中止になっております。自分の生活基盤、事業経営の安定があってはじめてロータリー会員でいられるということを考えると、切実な課題でもあると思えます。大きさに言いますと2520地区の会員が相当数減少するのではないかと心配しております。

7. 富士原裕子会員

- 1) まず例会に出席する事。
- 2) 会員の皆様とロータリーの情報、又、社会や会社の情報等を交換出来るよう心掛ける。
- 3) 入会して約5年経ちますが、まだまだロータリーの各委員会等わからないことだらけです。しかし、参加することにより、色々な知識や会員の方々の素晴らしさを知ることが出来、楽しく例会出席をしております。

※1) で出席することの大切さを強調されております。2) は、先程の菅野幸一郎会員と同意見でございます。3) では、富士原裕子会員は、ほんとうによくまめに真面目に出席されておりますし、その自分に与えられた仕事もきちんとやっておられます。新入会員の方に申し上げますけれども、会長要件や幹事報告を聞いて分からないことも多々あると思えます。RI、インターアクト、WC Sとか…。習うより慣れろです。とにかく出席している間にいろんなことが理解出来、ロータリーとしての基礎知識も分かって参ります。いずれ情報委員会でもセミナーをやりたいと思っております。その時は是非出席していただきたいと思えます。

8. 鈴木彦太会員

- 1) ロータリーは実践の哲学といわれています。従って、学んで、そして理念を身につけてほしい。
- 2) 実践して行動を望む。従って、委員会活動、クラブ協議会、クラブ活動、地区活動に進んで参加されることを望む。
- 3) 例会には出来るだけ出席し、会員同志お互いに尊敬を交わし友情を深めること。
- 4) 職業を通して、ロータリアンとして品位を持ち、地域社会に貢献し信頼される人になってほし

い。

- 5) ロータリアンとして積極表現によって人間性が豊かになり、自他共に祝福することによって、ロータリー活動も楽しくなる。

※当クラブの最長老らしい立派なご意見。1) は、ロータリーを知ってほしいということです。歴史からはじまって、いろんな今までの実績、目指すもの、そういったことを学んで身につけてほしいということだろうと思えます。2)、ここでも参加ということが出てきます。出席すること、参加することがロータリーの三大義務の第一番目の大切なことです。三大義務の1つは例会出席、2つ目はロータリーの公式雑誌を読むこと、3つ目は会費を納入することです。一番目が出席であり参加ですので、この辺を特に新しい会員には守っていただきたいと思えます。3) でも出席の大切さを表しています。4) は職業を通してということで、小野寺伸浩会員が「職業奉仕」について触れておりますが、その通りだと思います。

9. 菅原文之会員

- 1) ロータリークラブとは何か、理解に努めること。
- 2) 活動に積極的に参加してみること。
- 3) 活動を通して会員の融和を計ること。
- 4) 自分なりのロータリー観を持つこと。
- 5) ロータリー活動を通じて人生を豊かにする。

※鈴木彦太会員の考え方がほとんど菅原文之会員の意見に現れております。4) も、とても大切なことであろうと思えます。自分にとってロータリーとは何であろうということを一度考えていただきたいと思えます。5) についても鈴木彦太会員の5) と全く同じ内容です。

このアンケートを出す前と現在は、ロータリーを取りまく環境は大きく変わっております。この度の東日本大震災は、クラブにとって、一人一人の会員にとって大きな試練の時だと思います。震災後のテレビコマーシャルは、一般のコマーシャルが自粛されまして、次の様な公共コマーシャルが流れました。「心は誰にも見えないけれど、心遣いは見える。思いは見えないけれど、思いやりは誰にでも見える。」—その気持を形に一。これは、ロータリーの掲げる奉仕の理念に通じることではないかと思います。我々はこういう時こそロータリーの絆を強くし、少しでも世の中の人々に喜びと笑顔をもたらすことが出来るように前進したいと思えます。その結果としてロータリーを楽しむことにつながるのではないかとということをお願い、私のフォーラムを終わりたいと思えます。